

魅力あるデッサンを描く ⑧技法講座 vol.44

平成28年3月20日発行 (毎月18日発行)
第35巻第3号 通常410円
昭和57年8月9日第三種郵便物認可

美術の窓

3

March
2016
No.390

THE WINDOW OF ARTS

⑧技法講座
VOL.44

魅力ある デッサンを描く



技法講座 木材にテンペラと油彩の混合技法で描く (中編) 竹内 一 好評連載 山下裕二の今月の隠し球
山崎光夫 漢方植物ものがたり ●インターネットで美術の情報発信中!! 美術の窓ねっと www.tomasna.com

ルの開発・提供に取り組んでいる。
新たに公開された「Fudo B. Japan...
日本の匠」では、立命館大学アート・リ
サーチセンターや青森県庁を始めとする
6施設と連携し、西陣織や京産物、九谷
焼等、日本が誇る様々な工芸品27都府県
から82種をオンライン展示。工芸作品を
高画質の画像で鑑賞できる他、それら
にまつわる歴史や制作過程も閲覧できる。
「Google カルチュラルインスティテュート
統括責任者アミット・スードは「世界に
日本の伝統工芸品を売り込むだけでなく、
今まで知られていなかった制作過程や背
後のストーリーを伝えて、全く知らない
人に興味を持ってもらい、教育・啓蒙を
していきたい。今後、参加パートナーの
拡大をめざしている」と、同プロジェクト
の今後に意欲を示した。



公開発表で挨拶を行ったアミット・スード（カルチュ
ラルインスティテュート統括責任者）

公開された工芸作品の中には、知る人
ぞ知る地方の工芸品も選ばれており、同
プロジェクトが日本の工芸品を海外に伝
え広める場となるとともに、地方創生へ
の貢献となることが期待される。

「西国三十三所草創 1300年記念事業」 が今春スタート

日本最古の巡礼所33寺院で構成する
「西国三十三所礼所会」（会長：石山寺座
主 鷲尾遍隆）は、2018年に草創
1300年を迎えることを記念し、
2016年から20年までの5年間、「西
国三十三所草創1300年記念事業」
と題し、歴史的な行事を展開する。その
1つとして、西国三十三所観音霊場第13
番札所となっている大本山石山寺では、
今年の3月18日から12月4日まで、33
年に一度の本尊「如意輪観世音菩薩」の
御開扉を行う。さらに本尊の特別拝観に
加え、初代本尊の塑像断片、胎内佛像も
特別公開する。

4月からは札所番号順に毎月指定され
る日時のみ、特別なご朱印をもらえる
新しい巡礼の形、月参り巡礼を始め、今
後も継続して実施する。また1300
年前の巡礼を再現し、5月20日から伝統
の法灯をもって歩く徒歩巡礼を企画、一
般参加者を募集する（参加費無料、実費
負担）。詳細は西国三十三所礼所会事務局



記念事業の成功を願い、読経を納める全国の西国三十三所から集まった僧侶

（要問い合わせ）。その巡礼行事に合わ
せて、西国三十三所の各札所で、長年愛
されている「お寺スイーツ」を食べ歩く
「スイーツ巡礼」も企画。様々な種類の
和菓子や洋菓子など、各札所の「お寺ス
イーツ」100種類以上が参加し、今後
もその種類が増える見込み。女性やファ
ミリー層も楽しめる企画となっている。
同記念事業は国内だけでなく海外にも
アピールする。アメリカ人僧侶ジェ
シー・ロバート・ラフイーバーが「西国
三十三所」巡礼の旅を、SNSで国内外
に発信中。ラフイーバーは2002年
以来13年間、日本で修行を重ね、昨年6

公募
中美展
中央美術協会
0号から200号まで
第68回'16年10月東京都美術館
インターネット絵画教室！
URL www.chubi.org
TEL/FAX 0466-33-3647

月「真言宗豊山派僧侶階級取得（権大僧
都）」資格を取得。現在はハーバード大
学芸術科学大学院東アジア言語文明学科
博士課程で、真言密教・日本仏教・日本
宗教・中国仏教を専攻、日々勉学に励み
ながら、長期休暇を利用して来日し、西
国三十三所巡礼を行い、フェイスブック
で国内外にその魅力を発信している。

西国札所 古道 徒歩巡礼
（参加申込先）西国三十三所礼所会事務局
電話：077(548)8621
FAX：077(548)8623
info@saikoku33.jp

三菱商事、米国スミソ
ニアン博物館内2美術
館へ約5年間で百万米
ドルの支援を決定
三菱商事株式会社は、米国ワシントン

D.C.のスミソニアン博物館のフリーア
美術館及びサックラー美術館への支援と
して、2015年11月から20年9月末
までの約5年間で百万米ドル（約1・
2億円）を拠出することを決定した。現
地時間15年11月20日（日本時間21日）
にフリーア美術館にて調印式が行われた。
民間企業が両美術館に包括的な支援を行
うのは初。

スミソニアン博物館は、全部で19の博
物館や美術館で構成され、収蔵点数は全
米最大の1億3800万点を誇る。両
美術館はその内の2館であり、俄屋宗達
の「松島図屏風」「雲龍図屏風」や葛飾
北斎の「雷神図」等国宝級の作品をはじ
め、約4万点の日本を中心とした東洋関
連の美術品を収蔵し、日本文化・芸術発
信の中心となっている。
同社の支援金は、常設展や、17年春に
開催予定の企画展「歌麿展」他、日英バ



調印式の様子。Julian Raby フリーア美術
館・サックラー美術館館長（左）、杉浦康之
三菱商事常務執行役員（右）

イリソガルのコーディネーター養成、日
米キュレーター交流プログラム費用、
ウェブサイトのバイリンガル化等に充て
られる予定。

京和傘製造の日吉屋が ダリ愛用の和傘を復刻

シニレアリスムの代表的な作家で、

自らを「天才」と称して憚らず、数々の
奇行や逸話で彩られるダリが愛用した和
傘がある。1959年頃、スペインの
ダリ美術館に日本の某新聞局から贈呈さ
れたと伝わるその和傘は、ダリ自身も大
変気に入り、差して海岸を歩いたり、自
宅のインテリアとして使用したという。

この度、50年以上が立ち、破損がひど
くなってきたことから、ダリ美術館の依
頼で、京和傘製造の株式会社日吉屋がこ
の和傘の当時の姿を詳細に再現した展示
用のレプリカを製作することになった。
同社担当者が現地を訪れ、細部の確認
を行ったところ、驚くべきことにダリの
和傘は同社で製作している京和傘の特徴
に非常に似ており、また傘全面に京友禅
によく似た技法で見事な絵付けが施され
ていたという。大きさは国内最大級とな
る直径約3m。
世紀の芸術家と繋がった日本の和傘の



ダリ愛用の和傘（ダリ美術館にて）

製作過程は、同社のFacebookなどで随時
紹介される。完成は今年3月の予定。

【問い合わせ先】(株)日吉屋広報部
住所：京都市上京区百々町546
電話：075(441)6644
<https://www.facebook.com/wagasa.co.jp>

信長
井上画所
2月22日(月)~2月27日(土)
東北芸術工科大学
TUAD Spring Art Fair in Tokyo 2016
高橋美美子展
[夜風は月がうたう歌] 90×130cm
3月1日(火)~3月5日(土)
東北芸術工科大学
TUAD Spring Art Fair in Tokyo 2016
中野聡子展
[混沌の海] 布 10.6×10.6m
3月7日(月)~3月12日(土)
第3回 飛の会
上田圭一作品
3月14日(月)~3月19日(土)
田村公男展
[鷹] 30号S
東京都中央区銀座 3-5-6
井上商会ビル 3F(松屋前)
TEL.03-3562-1911